

◇熊谷隆一君

○議長（伊藤福章君） 次に、4番熊谷隆一君の一般質問を許可いたします。登壇願います。

（4番 熊谷隆一君 登壇）

○4番（熊谷隆一君） 最初に、町の産業振興について伺います。

美郷町が誕生して2年4カ月になりました。激動する社会情勢の中であって、町長は、まちづくりの基本を町民融和と地域バランスの配慮においた町政運営に努められ、施政方針の中で「美郷意識の定着」という言葉であらわしているように、短い時間ながら、町民の一体感が醸成されてきていると感じているのは、私ばかりではないと思います。

そうした中、人口減少や商店街の活性化、農業の振興など、町の課題克服のためにさまざまな取り組みが議論され、総合計画に基づき、施策が実行されてきております。

課題解決の基本は、経済が豊かになることだということは、だれしも認識していることではあります。が、現実的にはなかなか困難であると感じざるを得ません。

格差社会という言葉が現実味を帯びていますし、三位一体改革による地方交付税の減額は、直接町の経済に影響を与えていると思います。

基幹産業である農業は、米作中心であり、米価下落の影響を強く受けております。

また、これまで兼業農家の就労の場として経済的にも大きな位置を占めていた建設業も公共事業の減少で大変厳しい状況にあります。

こうした現実を踏まえ、町の産業振興について大胆な展望を描く必要があるのではないのでしょうか。

基幹産業である農業の振興はもちろんですが、それと現在頑張っている町内各企業への支援も大事であります。昨年10月に議会報編集委員の研修で岩手県の金ケ崎町に行きまいりました。そのときに、自動車の製造工場が町の経済を非常に活性化しているという話がありました。

最近秋田県内でも自動車産業や航空機関連産業、その他の製造業の誘致企業等が話題になっております。

大仙市と横手市の中間にあるという地理的条件や景気変動等のリスクなどなど、検討課題は多いと思われませんが、産業構造を見直し、産業振興を図り、町の経済が豊かになるために、積極的な取り組みが必要と考えますが、お考えを伺います。

次に、河川の管理について伺います。

町では湧水や地下水などを生活や観光、農業、酒づくりなど産業の大切な資源と位置づけ、水環境の保全のために各種の施策を展開しております。

また、町内には水系ごとに名称がつけられてはおりますが、1級河川13路線を中心として、多数の川

が流れております。

その中の丸子川では、毎年11月ごろ土崎地区にあります下川原橋付近にたくさんのサケが遡上し、産卵をする姿を見ることができるようになりました。これは、水質が改善されているあらわれだと思っております。

ところで、河川の管理については、農家が病虫害防除や景観維持のために個別に行ったり、各自治会組織が中心となっている河川愛護会が補助金を活用しながら、堤防の草刈りなどを行っております。

また、ことしから始まる農地・水・環境保全向上対策に取り組む地域では、その活動実施により、よりよい管理がされるものと思います。

堤防の管理については、それでよしとしても、川床の管理はどうしていくのか。例えば、丸子川水系の真昼川や赤倉川など、河床に大量の土砂が堆積し、木が生え、一見林と区別がつかなくなっている川があります。その他の河川においても、土砂が堆積し、草が生い茂っているところもあります。

防災の面や景観維持の観点から、河川本来の目的を果たすことができるのか。大雨のときなど、心配されるところであります。

これまでも地区住民からの要望はあったと思いますし、町としても管理者である県に要望はしていると思いますが、早急な調査と対策が必要と考え、取り組みについてお伺いいたします。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

初めに、産業振興についてですが、企業誘致に係る取り組みについては、これまで県企業誘致推進協議会での首都圏等での活動に参画するとともに、友好都市提携を結んでいる大田区の大田工業連合会と町内企業との受発注機会模索のための意見交換会の開催など、町としてできる範囲で推進をしているところです。

また、町内においては、企業ガイドなどを作成するとともに、15企業の賛同のもと、美郷町企業連携協議会を昨年11月に設立し、企業間交流や研修など、町内企業の活動支援を行っているところですが、一部の企業においては、電気部品製造から自動車関連部品製造へと事業拡大を図り、ここ数年内に新規雇用を見込んでいる企業や輸送用機械機具、工作用機械製造においては、事業拡大による工場増設に着手するなど、新規雇用の増加が見込まれるとのお話をいただいているところです。

今後とも、こうした取り組みを重ねることで、県外企業の誘致及び町内企業の活動拡大を期してまいります。議員ご提案の自動車産業や航空機関連産業の誘致については、ご指摘のとおり、県において積極的にそれら分野の企業誘致をしようとする動きがあることから、町単独というよりは、県の取り組みに参画し、美郷町あるいは町から通勤可能な近隣市に誘致されるように働きかけ、新たな雇用の場の

確保に努めることが現実的と存じますので、そうした考え方で臨んでまいります。

いずれにしても、まずは、既存企業が地域内において雇用を継続拡大していただくことを一義としながら、町の自然環境を考慮しながらの新たな企業誘致にも鋭意努力を重ね、さらに大きな企業誘致には、県や近隣市と連携した取り組みで新規雇用を生んでいくように努めてまいりたいと存じます。

次に、河川の管理についてですが、町内を流れる1級河川については、議員もご存じのことと存じますが、県が管理を担当しており、河床管理についても県が行っております。

そのため、しゅんせつや伐木については、町内の河川愛護会等からの報告や現地調査を踏まえて、県に要望し、順次対応していただいている状況です。

具体的には、平成17年度には丸子川の妻ノ神地内で根固め、洲さらい、出川の釜蓋地内では伐木を実施していただいているほか、平成18年度では真昼川の川原地内で護岸工、善知鳥側の牡丹川原地内で床固め、河道整正を実施していただいております。

しかし、除去した堆積物の処理等に費用がかかり、堆積物除去作業の実施が要望から実施に至るまで時間を要するようになってきている状況です。

いずれ、こうした経緯で管理主体である県に対応していただいておりますので、必要箇所については、引き続き要望してまいりたいと存じます。

町管理の11河川の河床土砂排除については、災害を未然に防ぐよう、町で現地調査をしながら、随時対応してまいりたいと存じます。以上です。

○議長（伊藤福章君） 4番熊谷隆一君、再質問ありますか。（「はい」の声あり）許可します。

○4番（熊谷隆一君） ただいまの答弁で理解したところでありますけれども、真昼川については、まずだれが見ても看過できないといいますか、非常にひどい状態になっておりますので、やはり財政難ということは県も町も同じでありますけれども、やはりそうした取り組みといいますか、計画については、もう少し踏み込んだ情報を、特に地域住民等に提供していただきたいと思うわけであります。

○議長（伊藤福章君） 町長、答弁願います。

○町長（松田知己君） 県の方でも予算措置の関係があるとは思いますが、県との事務調整の中でいい情報を入手し次第、地元の方にも情報提供するように努めてまいります。

○議長（伊藤福章君） よろしいですか。（「これで一般質問を終わります」の声あり）

これで4番熊谷隆一君の一般質問を終わります。